市民による芸術文化の共同事業体情報誌「ぬーべるふぉんてーぬ」

74

nouvelle Fontaine

発行日 2022年4月25日
発　行 岸和田文化事業協会
〒596-0073　岸和田市岸城町5-10
岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Email:fontaine@sensyu.ne.jp
https://jisen.jp

Music Art 'nd Theater Association

自泉会館のフルコンサートグランドピアノ

フルコンサートグランドピアノ外観

国の登録有形文化財、自泉会館――洋風の庭を左に眺めながら門から続く石畳を辿ると、白い漆喰塗りの壁、オレンジ色のスペイン瓦を戴く切妻屋根の建物に行き着きます。6本のトスカナ式円柱を抜け、玄関の美しい細工のドアを入り、右手にあるドアを開けると…そこにはタイムスリップでもしたかのようなクラシックなホールが広がります。

その真ん中にフルコンサートグランドピアノが鎮座しています。

実はこのピアノ、昭和36年（1961年）に竣工された岸和田市市民会館（1000人収容）で使用されていたものです。その市民会館が老朽化で取り壊されることになった時、自泉会館にやって来ました。日本楽器株式会社（現ヤマハ株式会社）の製品で、年齢は現在40歳ぐらいではないかと思われます。

ピアノは一生ものとよく言われますが、それは調整・整音などをし丁寧に労わってのことです。

大きなホールや新しいホールでは、ピアノ庫など温度が一定に保たれる場所に保管するものですが、自泉会館は国の登録有形文化財のため建物の改築改造ができず、ピアノ庫がありません。そのため、こまめに天気や温度に合わせ、風を通した

フルコンサートグランドピアノの中

り除湿器を使用したりと、ピアノのご機嫌をうかがう毎日です。演奏者に気持ちよく弾いていただけるよう、ピアノにも気持ちよい環境をと心掛けています。

こうして大切にしていても、寄る年波には勝てません。いつ頃からか「ちょっと音がね」と言われることが多くなりました。こまめに点検や調律をし、ご機嫌をとりながら使用していたものの、望む音がなかなか得られません。そろそろ寿命かも…。

いえいえ、そこは人間とは違うところ。※『オーバーホール』という大手術を施し蘇ったのです。平成23年の秋のことでした。こうして見事に若返ったピアノも10歳を超えましたが、今でも「良い音色ですね」の声を頂いています。天井の高いホール効果も相まって、聞く人を魅了する素敵な音色を奏でているのです。

自泉会館でこのピアノを弾くと「もう一度弾きたい」と皆さん言ってくださいます。歴史ある文化財のホールに負けない自慢のピアノです。ぜひ皆さんも弾いて聴いて、体験してみてください。

実はこのホールには、寄贈された少し小さめのグランドピアノがもう一台あります。この小さな自泉会館で2台のピアノが使用できると、これもまた人気ですよ。

※オーバーホールとは、ピアノの弦、チューニングピンなどの部品をすべて新しいものに交換して、古くなったピアノを本来のクオリティに近い状態に蘇らせる方法 のことです。

各分野で活躍し岸和田にかかわりのある方々に、お話をお聞きします。

「まなび中央公園」のこと

一般財団法人 岸和田市公園緑化協会
常務理事兼事務局長　善野　茂弘

中央公園は岸和田市市街地のほぼ中央に位置し、昭和49年廃止となった大阪府営の春木競馬場跡地に岸和田市が昭和51年度から約10年をかけ整備した総合公園で、日本の都市公園100選に選定されています。

競馬場の跡地利用には広く市民からアイデアを募りました。市民参加による全体計画に基づき「緑豊かな憩いとスポーツの広場」をめざし、4つのテーマ「緑豊かな公園」「市民いこいの公園」「市民の交流できる公園」「緑多い環境の中でスポーツできる公園」を土台としています。

公園としての開設面積は約19ha、甲子園球場5倍もの広さです。園内には総合体育館をはじめ400mトラックを有するスポーツ広場、テニスコート、室内ゲートボール場、50mプールや流水・幼児プールを備えた市民プール等の施設があります。また子どもたちが楽しみ利用できるジャンボ滑り台や複合遊具を設置し、教養施設としては白浜アドベンチャーワールドより寄贈の2匹のベニコンゴーインコを飼育する動物舎を「子どものひろば」におき、国の登録有形文化財である本市最初の旧岸和田村尋常小学校舎を「紅葉の谷」に復元移築しています。

園内は「桜の苑」「芝生広場」「紅葉の谷」「児童遊戯コーナー」等に分けられ、そこに適した樹木を植えています。竣工時には高木約6,000本、低木約51,000株を植栽との記録があり、30年以上経過した今、成長した木々は当初のテーマである豊かな緑を育み、多くの市民に親しまれる公園になったと思われます。市内の他の公園と比較して樹木数が非常に多く自然に囲まれた感じを受けますが、４年前の台風21号の影響で中央公園でも百数十本もの高木が被害を受け、伐採されました。

園内には散策コースが設定され、ウォーキングやジョギング、犬の散歩に訪れる姿を日々見受けます。沿道の樹木は「ユキヤナギ」「ウメ」「レンギョウ」「ツツジ」「モクレン」「アジサイ」「ツバキ」等、四季折々に色づく花はもちろん、新緑や紅葉、様々な木の実も1年を通して目を楽しませてくれます。中でも「桜の苑」を一面ピンクに染めて咲く100本以上の「ソメイヨシノ」は圧巻で、毎年花見客で賑わっています。

さらに平成29年に拡張整備した「バラ園」では、アーチの通路にバラが咲き誇ります。今年5月には市制施行100周年記念事業の一環として、この中央公園において全国28市町村で構成される「ばらサミット」が開催されます。ちなみにバラは市の花で、市制60周年に緑化推進の一環として選定されました。

令和２年度より中央公園は、岸和田市のネーミングライツサポーター制度により「まなび中央公園」の愛称に変更となりました。今後もこの「まなび中央公園」があらゆる意味で市民生活のよりどころとなるよう、適切に管理していく必要があると感じています。

善野さんのお話で毎日ゴミを拾う、トラックの土を掃く、樹木調査をするなど、多くのボランティアの方が活動されているのを知りました。たくさんの人に愛され、大切にされている「まなび中央公園」。スケートパークも新設されました。新緑の候。遊びにお散歩に、ぜひ訪れて下さい。私のお勧めは「ヒトツバタゴ」の木で「なんじゃもんじゃの木」とも呼ばれ、4月末頃、真っ白な花が咲きます。桜の苑の近くで探してみて下さいね。

（取材：黒木、小末）

『熊沢友雄日記』

～岸和田藩士の暮らしをたどる～

嘉永五年(1852)から明治二十八年(1895)までの間記述された『熊沢友雄日記』。このページでは祭礼関連を抜粋し、ご紹介していきます。

※月日は旧暦

明治元年（1868）

六月十三日　神事質素、①此節柄故

八月十三日　神事、来人

①此節＝明治維新・藩兵が京都に出兵→世間騒乱

明治二年（1869）

八月十三日　神事に付来客　多

明治四年（1871）

八月十二日　明日、神事たるを以て諸町の檀尻
②汐懸と称し、今日より市中を挽廻す
今日より公私の事を省くの論あるを以て、
③城北の天神祭礼、④野村の同祭礼、
同日に行ふ事に成たり故を以て檀尻凡数
⑤二十に及ひ市中の雑踏、先例の無に至る

八月十三日　岸城の神社祭事に付、官休止たり
今日午後雨始て晴るに依て、市中の
⑥群集立錐の地無きに及ふ私宅の来人
三、五人あり、聊酒肴を設て之を饗応す

②汐懸＝現在も「しおかけ（汐掛）」を実施
当時の試曳かな？

③城北の天神祭礼＝天神地区の一部

④野村の同祭礼　＝下野町

⑤二十＝当時も20基が曳行・現在と同等！

⑥群集立錐：三密？

明治五年（1872）

八月十三日　是マデ・夏・冬・秋三季の神祭、
郷庄村市氏神異なれは日限も異なるの処、
当秋の神祭より⑦当国一ノ宮大鳥社祭日、
六月・八月・十一月十三日を本日として
和泉国一般の祭日と致す可きの旨、
過日⑧堺県より布令あり　依て今十三日、
⑦当国一円の祭事として親戚懇家往来の
あるなく、村客雑踏を免れたり
今日各町より檀尻を挽て参拝をなせり

⑦和泉五社：大鳥・穴師・聖・積川・日根の各神社

⑧堺県

明治4年7月14日　廃藩置県　岸和田藩→岸和田県

明治4年11月22日　岸和田県廃止→堺県

明治14年2月7日　堺県廃止→大阪府

⑨祭礼月日変遷（堺県通達）

明治5年8月［旧暦］大鳥大社の祭日に統一の公布

明治5年11月［旧暦］太陽暦採用公布

≪旧暦≫明治5年12月3日→≪新暦≫明治6年1月1日

※太陽暦採用

岸城神社（南祭）

＝［旧暦］6月13日・8月13日・11月13日

沼天神宮（北祭）

＝［旧暦］8月25日

明治9年9月14日

＝［新暦］岸和田北方並野村迄同日

平成18年（2006）

＝「敬老の日」の直前の「土・日」

激動の幕末から新しい時代、明治へ。次々と発表される新制度は、人々の暮らしに大きな変化をもたらしたことでしょう。だんじり祭りも例外ではなかったようです。時代の激しい波にもまれながらも連綿と続けられてきただんじり祭。岸和田の人々の心の拠り所なのは、昔も今も変わらないようです。たくさんの観客やお客様がいらっしゃるのも同じですね。

岸和田七宮詣 岸和田の神社を訪ねる③ 弥栄神社（やえいじんじゃ）

弥栄神社は、岸和田市の北端に位置し、近年湾岸沖まで埋め立てられるまでは海岸より約700mの場所で、通称八幡山と称される鎮座地は、砂丘にして往古の防潮堤かと推察されます。

創立年代は不詳ですが、延喜式外の旧社です。往時春木の海辺に土着した掃守（かもり）氏の祖神である「振魂命（ふりたまのみこと）」を鎮祭したのが始まりであると伝えられています。しかし保元の乱以降、度重なる戦乱により一度は廃社となりますが、各地より移住した人々がこの地に小社を興して氏神を「牛神神社」と号して崇敬し、天正8年（1580年）に社名を弥栄神社と呼称するようになりました。

大正4年に磯上弥栄神社を合祀し、以降春木・大芝地区の総氏神となりました。

石製としては泉州一の大鳥居。祭礼のときはこの前からやりまわしをして参道をだんじりが走るという、他ではなかなか見られない光景だそうで、現在13台のだんじりが宮入りします。

拝殿には、昭和28年に建てられたときに寄贈された三十六歌仙の額と、宮入りする町のだんじりの写真が奉納されています。昨年6月にお父様から現職を引き継がれた豊田宮司によれば、第42代横綱鏡里の土俵入りもあったそうです。

境内には、春木宮川町と八幡町のだんじり小屋があり、2011年に放送されたNHKの朝ドラ「カーネーション」の撮影はここで行われました。

弥栄神社の隣には、八幡公園があり緑豊かな場所でした。

境内にある松は、ご神木で約350年のもの。

御祭神・素戔嗚尊（すさのおのみこと）
〈境内神社〉
八幡神社
　ご祭神　品陀別命（ほんだわけのみこと）
熊野神社（恵比寿神社）
　ご祭神　伊邪那美命（いざなみのみこと）
　　大国主命
　　事代主命（ことしろぬしのみこと）
市杵島（いちきしま）神社（弁財天）
　ご祭神　狭依毘売命（さよりひめのみこと）
白水神社（白永大明神）
　ご祭神　白永大神（はくながのおおかみ）

弥栄神社
岸和田市八幡町13-25
072-437-5151

（取材：近江、小木曽）

庭の話
～ようこそ自泉会館へ

岸和田文化事業協会 事務局　新川 妙子

岸和田市役所の近くにある、岸和田高校のグランドの前の、あの古い建物はなんだ？気になるな？入っていいのかな？そう思いながら前を通り過ぎておられる方は多いのではないでしょうか。

その建物が自泉会館です。岸和田文化事業協会が管理しており、コンサートや展示会場としてご利用いただけます。お部屋の使用がない時には、館内の見学も随時受けています。

利用者や当協会会員など自泉会館をよくご存じの方もいらっしゃいますが、知名度や認知度はまだまだです。見学来館者のアンケートでも「入るのに気が引けた」「気になっていた」「入るのに勇気がいった」などのご意見を頂戴しているように、一般の方にはまだまだ入りにくい場所のようです。

どのようにすれば気持ちよく訪問して頂けるのか…色々考えた結果、自泉会館で最初に目に入る庭を美しく整え、入りやすい雰囲気をつくることにしたのです。岸和田文化事業協会20周年、岸和田市市制施行100周年を迎える令和4年を目途に1年前より取り組んでいます。

庭のデザインは会員の数宝奈保さんにお願いしました。自泉会館の門から玄関入口まで草花を見ながら「美しい」「楽しい」と思えるような庭です。プロの手を借り土起こし・土の入れ替え等、デザイン通りのお庭をまず作ってもらいました。

自泉会館のシンボルツリーであるヒマラヤ杉の根元にクリスマスローズなど早春の花、ウマベガシの生垣のそばにはアガパンサス、ヤブランなど夏の花を植え、季節のひとめぐりを楽しめるように工夫しました。

事務局員である私ですが、庭担当として花と向き合ってきた1年間。土を耕し、肥料をまき、手入れをする。時には花なのか雑草なのかわからないこともある。せわしなくバタバタと過ごすものの、なかなか思うように咲いてくれません。『桃栗三年柿八年』と言うように、直ぐには完成しないのだと痛感しました。けれどありがたいことに、花たちは日々成長を続けてくれています。

スパニッシュな建物に似合う素敵なガーデンアプローチへ――夢は広がります。

本年は多々イベントもあり、自泉会館にも多くの人がお越しになることでしょう。「来てよかった」「また来たい」と言っていただけけるよう、庭のお世話も頑張っていきたいと思います。私はもちろんスタッフ一同、皆様のご来館をお待ちしております。

一語一縁

Ichigo-Ichien

【未来へ　ここから】音楽とは…?

自泉アーティストバンク　吉田 絢音

私がピアノを始めたのは４歳の頃でした。幼稚園の先生に憧れて習い始めました。音楽大学に進学して専門的に勉強していく中で「音楽とは何か」と考えることがありました。そんな時に出会った作曲家の名言をご紹介します。

『風は見えなくても風車は回っている。音楽は見えなくても心に響いてくる、囁きかける。～バッハ』『私達の財産、それは私達の頭の中にある。夢を見るから人生は輝く。～モーツァルト』

音は、弾いた瞬間消えてしまう儚さとともに、心の中にずっと残り続ける。それが人生における希望や糧になるように…という作曲家の人生観・価値観を表しているように感じました。

今は仕事をしながら演奏活動をしています。その中で、子どもが純粋に音楽を楽しんで自己表現する、その心が本来の音を楽しむ音楽であると改めて気付かされました。

これまでの経験と今の私に表現できることを大切にしながら、これからも演奏していきたいと思います。

＊岸和田文化事業協会は、自泉アーティストバンクをとおして若い芸術家を応援しています。

岸和田市文化祭とコロナ対策

岸和田市文化祭実行委員会 委員長　武井 俊成

今はオミクロン株の拡大防止のためのワクチン接種が早くいきわたるよう願うとともに、安定した生活、普通の暮らしに戻れる日々が待ち遠しいものです。

岸和田市文化祭は市内で活動中の文化団体が、市民の健全な文化向上に資する活動を発表できる場として毎年10月の1か月間に渡り、文化会館・自泉会館を中心に岸和田市が開催し、実行委員会が運営を担当しております。ここ2年はコロナ感染拡大の影響で制約を受ける中、それぞれが工夫を凝らしながら内容と共に対策に努力をしております。

コロナ対応では受付時にいろんな工夫が必要となっております。舞台発表は声を出す部門が多い為、制約がより必要となります。舞台上だけでなく、客席も制約の対象となり観客人数の制限が大きな痛手で、迷惑をおかけしております。

昨年はコロナ対策必要の2年目となり、各団体で一昨年の経験を活かして一歩進んだ対策を取られた団体が数多くみられ、その努力に感心と共に敬意を払う次第でした。

コロナ禍での制限をどのように活かせるかをより考えることにより、以前よりいろんな面で創意工夫が感じられ、74回を迎える文化祭がさらに岸和田市の文化に寄与していけることと思っております。

＊一語一縁のページでは、会員の紹介に加え【未来へ　ここから】と題し、自泉アーティストバンク登録者も紹介して行きます。

Event Report

アンケートからの抜粋

協会主催の事業にご来場いただき、有難うございました。
アンケートにご協力いただいた方の感想を紹介させていただきます。

クァルテット自泉 2022～北欧の旅～

日　時:令和4年1月30日(日)午後2時開演
会　場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:27人

〈皆さんの声〉

◆歴史ある洋館でクラシックを聴けるのを楽しみにして来ました。
◆自泉会館に弦楽器がこんなに似合うとは思いませんでした。
◆初めて生演奏を聴いて心が和みました。一時の安らぎをありがとうございます。

自泉アーティストバンク登録者によるコンサート おとりっぷ　ピアノでめぐるウィーンの街

日　時:令和4年2月13日(日)
①午後1時30分開演　②午後4時開演
会　場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:①16人 ②17人

〈皆さんの声〉

◆素敵な演奏とツアーガイド、ありがとうございました。
◆耳からはもちろん、目(映像)からも本当にウィーンに行った気分になりました。
◆音楽の潤いを頂き、また深い音色に聴き入りました。

岸和田文化事業協会20周年記念プレ事業「市制施行100周年記念事業　佐佐木勇蔵コレクション『短冊に見る日本人の美意識』」ポスターアート展

日　時:令和4年2月25日(金)～27日(日)
午前10時～午後5時(最終日午後4時まで)
会　場:岸和田市立自泉会館展示室
入場者数:71人

〈皆さんの声〉

◆さまざまな雰囲気の素敵なポスターですね。大賞のポスターを今後街角で見るのが楽しみです。
◆このような事業があったのに気が付かずに出品できなくて残念でした。
◆5月の短冊展が楽しみです。

アストル・ピアソラ～タンゴ100年の孤独と情熱

日　時:令和4年2月27日(日)午後2時開演
会　場:岸和田市立自泉会館ホール
入場者数:40人

〈皆さんの声〉

◆ピアノデュオで聴いた初めてのリベルタンゴは、迫力のある素晴らしい演奏でした。
◆バンドネオン、ギターにヴァイオリンが入ると、重厚さが増して鳥肌が立つほどかっこよかったです。
◆響きの良いホールでのアルゼンチンタンゴ。ダンスが目に浮かびました。

ガーデニングワークショップ ～自泉会館庭園を美しく～

日　時:令和4年3月25日(金)午前10時～
会　場:岸和田市立自泉会館庭園・展示室
参加者数:17人

〈皆さんの声〉

◆初めて参加しました。素敵な多肉植物の寄せ植えができました。
◆難しそうと少し不安でしたが、先生の優しい指導で私にも素敵な寄せ植えができました。
◆私たちの作った寄せ植えが自泉会館の庭にあります。自泉会館に立ち寄られたときにはぜひ見てください。

お知らせ　会員の方は8面に文化情報を掲載することができます。掲載希望の方は事務所までお越しいただき用紙にご記入ください。多数希望の方がいらっしゃる場合や当協会主催の事業がたくさんある場合はご希望に添えないこともあります。ご了承ください。

お願い　岸和田文化事業協会で取り上げてみてはどうかと思われるコンサートや展示会がございましたら、ぜひ事務所まで案を届けてください。今後の参考にさせていただきます。

●自泉会館では、新型コロナウイルス感染症防止のため事業鑑賞人数等を縮小して行っています。
●自泉会館をご利用の際は、手指の消毒、マスク等の着用、社会的距離の確保、体調の悪い方の入館はご遠慮ください。また館内は換気のため扉等を開放しています。

岸和田文化事業協会の事業 Information

●令和4年度　定時総会開催

令和4年度定時総会を下記の要領で開催いたします。

日　時：5月21日(土)午後1時より
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
内　容：①令和3年度事業・決算報告
　　②令和4年度事業計画・予算案審議

●市制施行100周年記念事業
「佐佐木勇蔵コレクション『短冊に見る日本人の美意識』」

日　時：令和4年5月18日（水）～5月29日（日）まで
　　午前10時～午後5時まで(最終日は午後3時まで)
会　場：岸和田市立自泉会館展示室
入場無料

●第66回自泉フレッシュコンサート

日　時：令和4年4月16日（土）午後2時開演
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：谷村　綾香（ピアノ）
　　松原 みなみ（ソプラノ）
　　八島　碧（ピアノ）
チケット代：会員前売1,000円(当日200円増)
　　一般前売1,200円(当日200円増)
チケット販売場所：岸和田市立自泉会館事務所
定員：40名

●第67回自泉フレッシュコンサート

日　時：令和4年6月18日(土)午後2時開演
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：後藤　愛香（ピアノ）　大槻　夏子（ピアノ）
　　佐々木 真衣（ソプラノ）安江 陽奈子（ソプラノ）
チケット代：会員前売1,000円(当日200円増)
　　一般前売1,200円(当日200円増)
チケット販売場所：岸和田市立自泉会館事務所
定員：40名

●第8回自泉Re.フレッシュコンサート

日　時：令和4年5月28日(土)午後2時開演
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：山崎　侑希（ピアノ）　高橋　晴美（ソプラノ）
　　末吉　景子（ソプラノ）森原 明日香（ソプラノ）
　　大井 由紀子（ソプラノ）
チケット代：会員前売1,000円(当日200円増)
　　一般前売1,200円(当日200円増)
チケット販売場所：岸和田市立自泉会館事務所
定員：40名

●弦楽四重奏 名曲アルバム ~音のカタログ~

日　時：令和4年7月1日(金)午後7時開演
会　場：岸和田市立自泉会館ホール
出演者：松田　淳一（第１ヴァイオリン）
　　池淵　友紀（第２ヴァイオリン）
　　柳浦　香澄（ヴィオラ）
　　藤原　克匡（チェロ）
チケット代：前売3,000円(当日500円増)
チケット販売場所：岸和田市立自泉会館事務所
定員：40名

■申し込み・問い合わせ
岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◎ロビー映像コンサート

ホール使用の無い日の午前10時～午後4時まで
月替わりで、岸和田文化事業協会主催事業の映像をロビーに投影しています。

◎1つだけのロビー作品展

岸和田市市制施行60周年記念岸和田風物百選より
月替わりで1点の展示をしています。
※お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

令和4年度（2022年度）(2022年4月~2023年3月)

会員募集

年会費

個人会員（1口）	2,000円	団体会員（1口）	5,000円
家族会員（1口） (個人会員の同居家族)	1,000円	法人会員（1口）	10,000円
		特別会員（1口）	50,000円

入会方法　協会事務局（自泉会館）で直接受付致します。
郵便振込の場合は 口座番号 00970—9—28145
加入者名　岸和田文化事業協会

詳しくは、岸和田文化事業協会事務局まで
TEL/FAX 072-437-3801　Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

文化情報

第73回岸和田市市展への出品を募集いたします

自作未発表のものに限ります

- 資　　格　平成19年4月1日以前に生まれた方。
- 作品規格、搬入出日　表のとおり
- 搬入時間　午後1時～午後7時　・搬出時間　午後4時～午後7時（時間指定）
- 出 品 料　500円
- 搬入場所　マドカホール展示場（荒木町1丁目17番1号）

※壁面展示可能作品は、吊るせる状態で出品してください。
※詳しくはマドカホール配布、又はマドカホールホームページ掲載の作品募集要領をご覧ください。

会期	部門	体裁	大きさ(cm)	出品点数	搬入日	搬出日
1期	洋画	額装（ガラス不可） 版画	20号(72.7×　)～50号(116.7×　) 自由	1点	5/10(火) 5/11(水)	5/22(日)
2期	写真	パネル張り・額装 (ガラス・アクリル不可)	半切、A3以上(マット内寸長辺38以上) 組写真　100×80以内	1点	5/24(火) 5/25(水)	6/5(日)
3期	書	額装・軸装・枠装・衝立 屏風・帖・巻物・刻字・篆刻	仕上り寸法 180×180 又は250×70以内(縦横自由) 自由	1点	6/7(火) 6/8(水)	6/19(日)
	日本画	額装 (ガラス・アクリル不可)	10号～60号(53×　～130.3×　) ※落款のある作品は受付不可	1点		
4期	陶芸	装飾的付属品は不可(皿立て、ランプ等)	自由	2点以内	6/21(火) 6/22(水)	7/3(日)
	俳画	額装・軸装	6号色紙大(61×31.7)以上	2点以内		

問合せ先：マドカホール
電話：072-443-3800（9時～17時）　休館日：月曜日・4/29・5/3～5/5

nouvelle Fontaine

vol.74
発行：岸和田文化事業協会
発行日：2022年4月25日

◆事務局
〒596-0073
岸和田市岸城町5-10　岸和田市立自泉会館内
TEL/FAX 072-437-3801
Eメール fontaine@sensyu.ne.jp

◆編集委員　小末もとえ・近江和代・小木曽由季
　　片山智信・黒木幸子・阪井正明

編集後記…

今年、岸和田市市制施行100年の節目の年。
これまで地域発展の為、取り組んできた先人達を振り返るとともに、次なるスタートラインとすることが不可欠であると思う。　（片　山）

https://jisen.jp
岸和田文化事業協会　検索